

# ワークショップ：11月16日（日）15：20～17：20

## A：アフリカ都市研究の現在地と日本の役割—産官学連携による展望

アジア・アフリカ都市計画研究会

[会場⑥/教室棟 301]

本ワークショップは、アフリカの都市・都市計画研究に関わる日本国内の現状を共有し、今後の方向性を議論する場とする。日本人研究者は少なく、個別に活動している現状がある一方、アフリカからの留学生は増加している。参加者間のネットワーク構築を促進し、日本の強みや国際的貢献の可能性を明らかにすることで、産官学の協働による持続的な研究・実践の基盤づくりを目指す。

＜登壇予定者＞横田雅幸（UN-Habitat）、武藤祥郎（国土交通省）、若宮愛（JICA）、細野良子（日本工営都市空間株式会社）、福島茂（名城大学）、松行美帆子（横浜国立大学）、小野悠（豊橋技術科学大学）

## B：アジア都市の気候変動リスクとパブリックスペースの実態

気候変動時代の包摂的な空間デザイン研究会

[会場⑦/教室棟 302]

気候変動の影響が深刻化するアジアの都市において、パブリックスペースは新たな役割を求められている。本研究交流分科会は、水害や猛暑などの気候変動影響に対するレジリエンスを確保しながら、多様な利用者の快適性や利便性を両立させる空間デザインの方向性を検討する。

本ワークショップでは、ハノイ建設大学のLe Quynh Chi氏を海外連携研究者として招聘し、ハノイ、ジャカルタ、ソウルを対象都市とした現地調査の知見を発表する。多角的な議論を通じて、アジアの文化的・社会的文脈に即した解決策を見出し、レジリエントな公共空間の設計手法を模索する。包摂的な気候変動適応アイデアを具体化することで、気候変動時代におけるパブリックスペースの新たなあり方を提示し、持続可能な都市づくりに貢献することを目指す。

＜登壇予定者＞丹羽由佳理（東京都市大学）、本間健太郎（東京大学）、宋俊煥（山口大学）、Nico Surantha（東京都市大学）、柏原沙織（神奈川大学）、新井祐子（東日本旅客鉄道・東京大学）、雨宮知彦（ラーバンデザインオフィス）

海外連携研究者：Le Quynh Chi（Hanoi University of Civil Engineering）

## C：界隈性の魅力のあるまちの育て方とその時の民間都市プランナーの役割

民間都市プランナーと学識経験者のコラボレーションによる社会的要請に応じた政策立案とその実装に向けた研究交流分科会

[会場⑧/教室棟 303]

本研究交流分科会では、各分野の有識者のミニ講演会、意見交換等を通じて、都市計画における今後の民間都市プランナーに求められる職能や役割、特に＜界隈性のある街の魅力＞を議論のテーマに設定し、今後の都市開発等の方向を見定めながら、持続可能な街とする方策等の議論を重ねている。

今年度のWSでは、この3カ年のとりまとめに向けて、現時点での＜界隈性の魅力のあるまちの育て方とその時の民間都市プランナーの役割＞について提言のタタキ台を示し、会場やオンラインの参加者を交えて議論を行う。

＜登壇予定者＞上條由紀、黒田美穂、坂井信行、松本晋也、山崎慎也、他 有識者

## D：市民発意を支えるデジタル技術とまちづくりの可能性

市民の主体的な発意を組み込んだ地域ビジョンのつくり方研究会

[会場⑨/教室棟 304]

研究会ではまちづくりにおいて市民発意をベースにビジョンを考えることをテーマに活動している。現在様々なデジタル技術がある中で、まず、まちづくりの「参加」「現状分析」「話し合い」「ビジョン作成」「事業化」「運営・管理」のプロセスの中でどのようにデジタル技術が活用されているか整理する。さらに市民の主体的な発意を組み込んだまちづくりを進める上で、デジタル技術をどのように活用するとよいかについて、その可能性と課題について探る。

＜登壇予定者＞吉野和泰（鳥取大学）、山口雄之（(株)山手総合計画研究所）、坂井杏花（金津高校）・坂井市、パネルディスカッション：石井儀光（国総研）、田中椋（国総研）

## E：スーパーシュリンク・シティ「夕張」からみる都市縮小課題

シュリンクシティ研究会

[会場⑩/教室棟 403]

日本の8割以上の自治体はその人口を減少させているが、それらの中でも夕張市ほど人口を減少させた自治体は日本だけでなく世界的にも珍しい。その人口減少率は95%であり、人口10万人以上あった都市で、戦災や天災ではなく、このような高い人口減少率をみた都市は世界的にも希有である。そのような人口減少先進都市が、現在、どのような状況にあるのか。それを都市計画的に対応することができるのか、を会場の人々と一緒に議論したい。

＜登壇予定者＞瀬田史彦（東京大学）、服部圭郎（龍谷大学）、瀬戸口剛（北海道大学）、青木嵩（大阪大学）、海道清信（名城大学名誉教授）

## F：都市・地域分野における国際協力の実践と展望

海外都市開発交流小委員会

[会場⑪/教室棟 404]

日本の都市・地域分野における国際協力は途上国を中心に幅広く展開されているが、その実態は十分に共有されていない。本ワークショップでは、小委員会の活動紹介と併せて、産官学の実務者が具体的なプロジェクトを題材に現場での実践や課題を共有し、今後の国際協力のあり方を議論する。海外都市開発に関心を持つ学生・若手研究者や他分野の実務者にも開かれた対話の場として、これまでの経験を問い直し、これから関わる人々と新たな可能性を考える機会としたい。

＜登壇予定者＞海外都市開発交流小委員会企画委員及び幹事